

2026 年 7 月 28 日

各位

会 社 名 Chordia Therapeutics 株式会社
代 表 者 名 代表取締役 三宅 洋
 (コード番号：190A 東証グロース市場)
問 合 せ 先 コーポレート部長 岡谷 大
 TEL : 03-6661-9543
 MAIL : info@chorditherapeutics.com

CLK 阻害薬 rogocekib の希少疾病用医薬品指定に向けた 審査状況に関するお知らせ

Chordia Therapeutics 株式会社（本社：神奈川県藤沢市、代表取締役：三宅洋）は、2026 年 7 月 27 日に開催された厚生労働省薬事審議会医薬品第二部会（以下、「本部会」）において、当社のリードパイプラインである CLK 阻害薬 rogocekib について、再発又は難治性の急性骨髄性白血病（AML）を対象とした希少疾病用医薬品に指定することが本部会で了承されましたので、お知らせいたします。今後、厚生労働省による正式な指定手続きを経て、希少疾病用医薬品の指定通知を受領した際には、速やかにお知らせいたします。

なお、本件による当社業績への影響はありません。

CLK 阻害薬 rogocekib（開発コード：CTX-712）について

rogocekib は、細胞増殖に重要な役割を果たす RNA スプライシング反応の主要な制御因子である CDC2 様キナーゼ（CLK）に対するファーストインクラスの選択的な経口型の低分子阻害薬です。FDA から AML 適応でのオーファンドラッグ指定（Orphan Drug Designation（ODD）：希少疾病用医薬品指定）を受けており、現在、米国の第 1/2 相臨床試験を実施しています。

Chordia Therapeutics 株式会社について

当社は、臨床開発品を擁するがん領域専門の研究開発型バイオベンチャーとして、神奈川県藤沢市に本社を置き活動しています。当社のリードパイプラインである CLK 阻害薬 rogocekib（CTX-712）は、米国での第 1/2 相試験を進行中です。rogocekib は、がんの脆弱性をターゲットにしており、有望な治療薬としての可能性が期待されています。また、当社は、リードパイプラインの rogocekib、MALT1 阻害薬 ocipumaltib（CTX-177）に加え、CDK12 阻害薬 CTX-439、GCN2 阻害薬など、複数のパイプラインの研究開発に取り組んでいます。

詳細は、当社ウェブサイト（<https://www.chorditherapeutics.com/>）をご覧ください。